



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社 T Y K
コード番号 5363 URL <http://www.tyk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 0572-22-8151

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	22,587	6.0	2,434	2.1	3,091	3.8	1,840	12.4
2023年3月期第3四半期	21,310	9.1	2,485	1.4	2,978	7.2	1,637	11.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,731百万円 (48.5%) 2023年3月期第3四半期 2,512百万円 (35.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	41.55	
2023年3月期第3四半期	37.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	53,560	42,828	69.2	836.73
2023年3月期	50,010	39,806	68.7	775.21

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 37,081百万円 2023年3月期 34,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		6.00		6.00	12.00
2024年3月期		8.00			
2024年3月期(予想)				9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,970	4.5	3,190	0.3	3,950	4.0	2,490	17.7	56.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	45,477,000 株	2023年3月期	45,477,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	1,160,038 株	2023年3月期	1,189,586 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	44,301,582 株	2023年3月期3Q	44,250,030 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数には株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2024年3月期3Q 109,300株、2023年3月期 144,900株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年3月期3Q 130,715株、2023年3月期3Q 182,350株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあり、国内経済活動の正常化による景気の緩やかな持ち直しが見られましたが、円相場の不安定な変動や物価の上昇、人手不足等により、依然として不透明な状況が継続するものと考えられます。世界経済においても経済活動を正常化する動きが見られますが、長期化するウクライナ情勢の動向による原材料・エネルギー・運輸等諸価格の高騰に起因する経済・鉄鋼需要の下振れリスクが懸念されるほか、気候変動や自然災害によるサプライチェーンの混乱、世界的な保護貿易主義の高まりや中国不動産バブル崩壊の可能性といったリスクもあり、先行きの見通せない状況が引き続き継続するものと思われま

す。当社グループ(当社及び連結子会社)の主要取引先であります国内鉄鋼業界における当第3四半期連結累計期間の粗鋼生産量は前年同期比1.3%減の6,537万トンとなりました。

このような状況のもと、当社グループは品質第一の考えのもとに売上増加と生産性向上に全力で取り組んで参りました。主力製品である製鋼用耐火物をはじめ、ファインセラミックス等の先端材料技術や環境創造技術へ挑戦し、コスト削減など経営合理化を進めて参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては、次の通りの経営成績となりました。

売上高は、国内の粗鋼生産量が減少したものの、耐火物需要は堅調に推移したため、225億87百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

利益面では、原材料や輸送費用等の高騰で原価率が上昇したことで、営業利益は24億34百万円(前年同期比2.1%減)となりました。円安による為替の影響により、経常利益は30億91百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億40百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

①日本

国内の売上高は堅調な耐火物需要の推移により、158億11百万円(前年同期比5.3%増)となりました。原材料等の高騰による売上原価率の悪化を受け、セグメント利益は23億17百万円(前年同期比8.8%減)となりました。

②北米

北米の売上高はコスト上昇分の販売価格への転嫁により、26億67百万円(前年同期比15.6%増)となりました。セグメント利益は1億2百万円(前年同期比739.6%増)となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパの売上高も堅調な耐火物需要の推移により、32億5百万円(前年同期比4.9%増)となりました。売上原価率の改善により、セグメント利益は2億35百万円(前年同期比24.8%増)となりました。

④アジア

アジアの売上高は、6億49百万円(前年同期比1.1%減)となりました。セグメント利益は1億14百万円(前年同期比6.8%減)となりました。

⑤その他

その他の売上高は2億52百万円(前年同期比5.8%減)となりました。また、セグメント利益は50百万円(前年同期比177.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ、13億53百万円増加し、327億40百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加（11億96百万円）、受取手形及び売掛金の増加（4億8百万円）、原材料及び貯蔵品の減少（1億43百万円）によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ、21億96百万円増加し、208億20百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券の増加（22億78百万円）によるものであります。

(負債)

負債の残高は前連結会計年度末に比べ、5億27百万円増加し、107億31百万円となりました。その主な要因は、繰延税金負債の増加（5億59百万円）によるものであります。

(純資産)

純資産の残高は前連結会計年度末に比べ、30億22百万円増加し、428億28百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加（13億34百万円）、利益剰余金の増加（12億18百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年11月14日に公表いたしました業績予想の数値より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,513,396	13,709,914
受取手形及び売掛金	8,475,085	8,883,136
製品及び外注品	4,751,743	4,622,560
仕掛品	1,879,462	1,919,186
原材料及び貯蔵品	3,592,875	3,449,312
その他	196,009	179,621
貸倒引当金	△21,989	△23,269
流動資産合計	31,386,583	32,740,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,047,410	2,042,544
窯炉、機械装置及び運搬具(純額)	2,239,787	2,091,240
土地	4,860,138	4,868,203
その他(純額)	468,288	554,150
有形固定資産合計	9,615,625	9,556,138
無形固定資産	94,164	108,890
投資その他の資産		
投資有価証券	8,452,979	10,731,751
繰延税金資産	327,788	312,329
その他	174,547	152,354
貸倒引当金	△41,612	△41,262
投資その他の資産合計	8,913,702	11,155,172
固定資産合計	18,623,492	20,820,200
資産合計	50,010,075	53,560,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,886,549	1,638,854
短期借入金	3,366,712	3,366,712
未払法人税等	368,627	390,093
賞与引当金	581,163	209,900
その他	838,002	1,366,537
流動負債合計	7,041,054	6,972,097
固定負債		
長期借入金	51,947	42,480
繰延税金負債	409,178	968,229
役員退職慰労引当金	887,924	912,239
退職給付に係る負債	1,748,919	1,771,904
その他	64,896	64,905
固定負債合計	3,162,867	3,759,759
負債合計	10,203,921	10,731,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,398,000	2,398,000
資本剰余金	2,491,100	2,491,100
利益剰余金	27,115,548	28,334,319
自己株式	△287,416	△275,863
株主資本合計	31,717,232	32,947,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,323,057	3,657,341
繰延ヘッジ損益	△320	—
為替換算調整勘定	292,278	476,580
その他の包括利益累計額合計	2,615,015	4,133,922
非支配株主持分	5,473,906	5,747,327
純資産合計	39,806,154	42,828,805
負債純資産合計	50,010,075	53,560,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	21,310,962	22,587,127
売上原価	15,651,960	16,770,656
売上総利益	5,659,002	5,816,471
販売費及び一般管理費	3,173,664	3,382,325
営業利益	2,485,338	2,434,145
営業外収益		
受取利息	4,222	34,761
受取配当金	280,800	317,179
不動産賃貸料	54,908	54,714
為替差益	112,738	234,685
その他	59,688	34,091
営業外収益合計	512,358	675,432
営業外費用		
支払利息	9,952	9,394
不動産賃貸原価	8,229	8,190
その他	1,472	204
営業外費用合計	19,654	17,789
経常利益	2,978,041	3,091,789
特別利益		
固定資産売却益	3,934	515
投資有価証券売却益	26,222	—
ゴルフ会員権売却益	1,886	—
特別利益合計	32,043	515
特別損失		
固定資産廃棄損	6,901	8,885
固定資産売却損	403	77
投資有価証券評価損	—	1,816
損害補償損失引当金繰入額	18,880	—
特別損失合計	26,185	10,779
税金等調整前四半期純利益	2,983,899	3,081,525
法人税等	967,519	932,285
四半期純利益	2,016,380	2,149,240
非支配株主に帰属する四半期純利益	378,942	308,416
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,637,438	1,840,823

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,016,380	2,149,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	347,214	1,340,126
繰延ヘッジ損益	563	320
為替換算調整勘定	148,107	241,589
その他の包括利益合計	495,885	1,582,036
四半期包括利益	2,512,266	3,731,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,102,343	3,359,730
非支配株主に係る四半期包括利益	409,922	371,546

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	15,021,417	2,307,869	3,055,852	657,383	21,042,523	245,692	21,288,215
その他の収益	—	—	—	—	—	22,746	22,746
外部顧客への売上高	15,021,417	2,307,869	3,055,852	657,383	21,042,523	268,438	21,310,962
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,806,834	—	78,821	58,371	2,944,027	638,006	3,582,034
計	17,828,251	2,307,869	3,134,673	715,755	23,986,551	906,445	24,892,996
セグメント利益	2,540,530	12,189	188,477	123,235	2,864,432	18,226	2,882,659

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,864,432
「その他」の区分の利益	18,226
セグメント間取引消去	△31,919
全社費用(注)	△365,402
四半期連結損益計算書の営業利益	2,485,338

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	15,811,640	2,667,423	3,205,421	649,903	22,334,389	232,562	22,566,951
その他の収益	—	—	—	—	—	20,175	20,175
外部顧客への売上高	15,811,640	2,667,423	3,205,421	649,903	22,334,389	252,738	22,587,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,807,338	130	71,302	48,784	2,927,556	726,669	3,654,226
計	18,618,979	2,667,554	3,276,724	698,688	25,261,945	979,407	26,241,353
セグメント利益	2,317,075	102,336	235,180	114,912	2,769,504	50,642	2,820,146

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,769,504
「その他」の区分の利益	50,642
セグメント間取引消去	9,214
全社費用(注)	△395,215
四半期連結損益計算書の営業利益	2,434,145

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(石川県能登半島を中心とした地震による影響について)

2024年1月1日に発生した石川県能登半島を震源とする地震により、当社連結子会社である日ノ丸窯業株式会社において社屋及び工場、在庫等に被害が発生しております。当地震が当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に与える影響については調査中であり、現時点では金額を合理的に見積もることは困難であります。

なお、発生後は日ノ丸窯業株式会社の操業を停止しておりましたが、現在は安全の確保を最優先としたうえで、被害状況の調査とともに、一部の生産を再開しております。